

第52回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

1 開催日 2022年10月27日 13:00～(15:00) 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館 ㊦

2 参加人数 ・男性8名・女性2名 計10名

3 今回の季語 十月の季語全般 (季語重なりがないこと!)

4 選句の結果 * 下線を表した句は、参加者本人の特選句!



- ・ 一人居の断捨離兼ねる冬支度
- ・ 秋晴れや気もとのひて妻とお茶
- ・ 山粧う葉隠れの術伊賀路行く
- ・ 東福寺赤き紅葉稚児が追う
- ・ 神無月正宮守る大杉や
- ・ 細き路地街吹く風におう菊
- ・ 海は不漁空は大量いわし雲
- ・ この街に独り住みつく秋茜
- ・ 蜻蛉飛ぶ漣む草に一休み
- ・ 遠き旅水面にただよう初雁ら
- ・ 秋の暮れあかね雲に近江富士
- ・ 神社にて柏手二つ秋高し
- ・ 孫去りてポツンと一人秋の暮
- ・ 菊花展大きな夢の街起し
- ・ 吊り橋へくねくね曲ねり谿紅葉
- ・ 追伸の更にはみ出す夜長かな
- ・ 紅葉をよけて手こぎの小舟かな
- ・ 歩みゆく俳句と共に秋日和
- ・ 落葉追う我が子目で追う親心
- ・ 秋半ば寒暖激しく四季こもる

5 講評・添削 披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すべき句
・吊り橋へ くねくね曲ねり 谿紅葉

〈リフレイン表現〉同じ言葉を繰り返し使う

〈モミジバ〉

・東福寺 赤き紅葉 稚児が追う

“紅葉”は赤色であるので青紅葉 若楓

・秋半ば 寒暖 激しく 四季 こもる

*季節は秋なのに、寒暖差の激しさから“四季”が凝縮されている様な天候!

・朝風に香りゆたかに 木犀花 ⇔ “金木屋”でも可

*下五に固有名詞が入る場合は5文字を超えてもよい!

2) 季語無・当該季外れ?!・季重なり! + 季語色々!

・秋の暮れ あかね雲 背に 近江富士

*季語 ※季語ではない!!

・この街に 独り住みつく 秋茜

“赤とんぼ”

3) 助詞の使い方

・遠き旅 水面にただよう 初鴨ら

*不要では! ⇒ 無理に文語体にする必要はない。

4) 字余り・字足らず

・遠き旅 水面にただよう 初鴨ら

1字余り

助詞の使い方?

⇒ ・遠き旅 水面ただよう 初鴨ら

6 次回(#53)開催日 2022年 11月 24日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 十一月の季語全般

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) “五七五”の17音(文字)を満足すること!

大阪工場内 ゆうゆう会館 ㊦

選外句

- ・秋立ちて真緑の木々赤味増す
- ・朝風に香りゆたかに木犀花
- ・OBはホームページにはずむ秋
- ・黙々と脚立の男松手入れ
- ・五十鈴川川面に映るうろこ雲
- ・秋まつり妻が見つめる初舞台
- ・雀らや稲穂の畔に砂あそび
- ・野分け立ち波雲面が青空に
- ・秋夜空天空浮ぶ生駒の灯
- ・摘芯と施肥の具合菊作り